

第8期(2010年度)SSCS(Small Schools for Civil Society)

インターンシップ奨励プログラム

活動カリキュラム(2010年7月～2011年6月)

■ 団体概要

記入日 2010年2月

団体名 (小さな学校)	特定非営利活動法人 神奈川子ども未来ファンド
代表者/ 連絡担当者	代表者:青木 和雄(理事長) 連絡担当者:米田 佐知子、大澤 万里子
団体住所等	〒231-0001 横浜市中区新港 2-2-1 横浜ワールドポーターズ 6F NPO スクエア内 電話番号:045-212-5825 FAX:045-212-5826 URL: http://kodomofund.com/index.html 連絡のつく曜日・時間帯:月～金曜日、10:00～17:00
設立時期	2003年4月
団体の活動目的 と 活動内容	神奈川子ども未来ファンドは、子ども・若者の育ちや子育てを社会で支えるために生まれた市民基金です。企業、組合、商店街等の協力で広く寄付を募り、子ども・若者や子育てに関わる神奈川県内のNPO(非営利組織)に活動資金を助成することを主な活動としています。 【活動内容】 (1)神奈川県内の子ども・若者や子育てに関わるNPOへの資金助成・運営支援 (2)子ども・若者の育ちを社会で支えるための寄付や募金の受入、寄付プログラムの開発・実施 (3)神奈川県内の子ども・若者や子育てを支える居場所に関する情報提供 (4)啓発イベント開催(朗読劇「ハッピーバースデー」等)

【団体名: 神奈川子ども未来ファンド】

■ 活動カリキュラム

活動名	市民基金の運営参加
主な活動場所 最寄駅と駅からの距離	神奈川子ども未来ファンド事務所(横浜市中区) JR/市営地下鉄線「桜木町駅」徒歩7分、みなとみらい線「馬車道駅」徒歩5分
スケジュール	<p>*カリキュラムは、状況や事情により変更となる場合があります。</p> <p>最初のオリエンテーションで相談しながら、インターン生の興味、関心に応じ、インターン活動の目標と主な内容を決めていきます。※できるだけ多様な経験をしてもらいたいと考えています。</p> <p>【想定される主な活動内容(この中から相談して、活動内容を組み立てます)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ファンドレイズ活動(NPO助成の原資を募る寄付プログラムの準備・実施) ○ 助成公募・選考等にかかわる諸実務補助 ○ 情報発信・広報事業(子ども支援NPOの活動状況を把握・発信する) ○ 啓発事業(子どもの心の痛みを知ってもらうチャリティ朗読劇事業等) ○ 企業、行政、NPOの連携促進ネットワークの会議の運営・協働事業補助 <p>※下記スケジュールは、基本となる活動です。</p> <p>「事前研修と入校式」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ オリエンテーション(目標と活動内容の調整・設定) ・ NPO データベース「子どもの居場所情報箱」(HP で提供)情報更新作業(随時) ・ 神奈川子ども未来ファンド助成対象団体の定期訪問・ニュースレター取材(随時) ・ 運営委員会への参加と議事録作成(月2回程度・インターン期間を通じて) ・ PR・募金活動等(イベント出展補助・随時) ・ 協力者データベースの整理(随時) <p>2010年7月3、4日 ＜前期＞</p> <p>2010年11月頃 ＜後期＞</p> <p>2011年3月頃</p> <p>2011年6月頃</p> <p>「中間報告会」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ オリエンテーションで調整した各種事業に関わる実務 <p>「9ヵ月インターン修了報告会」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 認定NPO法人関連報告文書作成補助 <p>「修了報告会」、「事前前研修会・入校式(9期)」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 助成贈呈式・報告会 準備、運営手伝
スーパーバイザー (統括受入担当)	米田 佐知子
メンター (日常的受入担当)	大澤 万里子
活動日・ 活動時間について	<p>1年間活動可能な方を希望します。</p> <p>活動は、週に1~2度程度、平日の日中、事務所での活動が、主となります。</p> <p>各種会議やイベント出展、子ども支援NPOの現場訪問では、平日夜間や土日に予定が入ることもあります。(随時、関係者との日程調整を行います)</p> <p>また、月2回、平日夜間に開催している運営委員会は、ファンドの日常的な活動内容を検討する会議なので、出席していただきたいと思えます。</p>

【団体名： 神奈川子ども未来ファンド】

<p>団体を理解するための情報について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 神奈川県子ども未来ファンドホームページ http://www.kodomofund.com/ ・ 神奈川県子ども未来ファンドブログ http://blog.canpan.info/kodomofund/ ・ 文芸書版『ハッピーバースデー』（金の星社刊、著者：青木和雄・吉富多美） （啓発事業：朗読劇「ハッピーバースデー」原作本）
<p>インターネットに期待すること</p>	<p>次のような方からの積極的なご応募をお待ちしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども、若者、子育て中の親の状況を知ろう、共感をもとうとする姿勢のある方 ・NPOの財政基盤強化、企業や組合、商店街などの社会貢献活動に関心をもっている方 ・単純作業にも、その意味と目指す成果をよみとって活動する姿勢をもつ方 <p>日常作業に、インターネットを活用した情報収集、ワード・エクセルを使った書類作成、メールでの連絡・調整がありますので、基本的な操作が行えることが必要です。</p>
<p>団体からのメッセージ</p>	<p>○様々な悩みをもった子ども、若者や親が集い、自由に話したり、安心して相談できる場所をつくり、人と人のつながりをつくりなおそうと、市民活動団体(NPO)が地域の中で、出会い、学びあい、育ちあえる場所を運営しています。</p> <p>○神奈川県子ども未来ファンドは、広く寄付を集めてNPOへ資金助成することで、子ども・若者のいのちを守り、子どもや子育てを社会みんなで応援する、全国初のテーマ型・地域市民基金です。NPOの活動を資金や技術支援で支えると同時に、企業や組合、商店街などの地域貢献活動に役立つ仕組みとして機能しています。</p> <p>○インターン生には、人のつながりや寄付が、子どもたちを勇気づけ、社会を変えていく力になること、そのために市民基金が果たす機能や役割を、事務局業務の一端で感じてもらいたいと思います。</p> <p>○活動期間中には、乳幼児から若者まで、多様なテーマの子どもサポート活動内容や現場に触れて、NPOの実態も知ることができます。また、子どもの育ちを支えるために企業や行政、市民が連携して取り組みを進めるプロジェクトの準備・運営等にも参加してもらえます。</p> <p>○運営には、NPO関係者・NPO支援組織・企業・行政・学識者・マスコミ関係者など、多彩な立場、背景を持つ市民が参加協力しています。各種活動を検討、実施する過程で、多様な視点・考え方に触れ、学んでもらえることを願っています。あなたも、仲間に加わってください。</p>
<p>団体の写真</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>マリノス募金活動</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>事務所の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>2009年助成贈呈式</p> </div> </div>

(神奈川県子ども未来ファンドは受け入れ初年度のため、先輩からのメッセージはありません)

【団体名： 神奈川県子ども未来ファンド】